

第50回海洋開発シンポジウム(2025) 講演スケジュール										
第1日目:2025年6月30日(月)										
※色付きは論文賞対象の発表										
	第1会場			第2会場			第3会場		第4会場	
10:00～10:20 第1会場 開会式 海洋開発優秀論文賞・海洋開発論文奨励賞 受賞式										
10:30～12:30	No.	金洙列 熊本大学 特別セッション「沿岸域における気候変動の影響とその対策」								
	S-01	大規模アンサンブル気候予測データを用いた九州沿岸における高潮偏差の将来変化予測 ○ 河野瞬 井手喜彦 沖俊介 有吉隆太郎 山城賢 児玉充由								
	S-02	自己組織化マップを用いた台風の経路分類手法の改良と日本周辺における台風の将来変化評価 ○ 有吉隆太郎 井手喜彦 西山浩司 河野瞬 山城賢 児玉充由								
	S-03	弱非線形ビジネスモデルにより算定された重複波力の補正式の提案 ○ 平山克也 平井翔太								
	S-04	新形式護岸の複合による越波抑制の増強効果に関する研究 ○ 山縣史朗 田中智也 鶴田修己								
	S-05	ストレステストを活用したコンテナターミナルの浸水脆弱性・対策効果評価手法の提案 ○ 宮田正史 竹信正寛 大島靖樹 小野憲司 吉田郁政 赤間康一 神野竜之介 富田孝史								
	S-06	発酵米粉を用いた藻場造成ブロックに関する研究―海中曝露試験における酵母数と栄養塩― ○ 福原朗子 今野克幸 三原義広 泉耕広 武田宗久								
	S-07	IMPACT ASSESSMENT OF 2023 CYCLONE MOCHA ON VEGETATION AND FLOOD USING REMOTE SENSING IMAGE ANALYSIS ○ Thwin, H. N. Takagi, H. Islam, M. R.								
	第50回記念特別講演会 『海洋開発の未来を拓く～50年の歩みと次の50年への挑戦～』 開会挨拶 名古屋大学 水谷 法美 先生 －第1部－ 特別講演 「海の哺乳類からのメッセージ」 国立科学博物館 田島 木綿子 先生									
	13:30～15:10	第50回記念特別講演会 『海洋開発の未来を拓く～50年の歩みと次の50年への挑戦～』 －第2部－ 「海洋開発のこれまでとこれから」 1. 歴代委員長講演(※所属は委員長在任時のもの) 京都大学 高山 知司 先生 港湾空港技術研究所 下迫 健一郎 様 早稲田大学 柴山 知也 先生 2. 話題提供 「伊勢湾台風を絡めた港湾施策」 国土交通省中部地方整備局副局長 西尾 保之 様 「海洋開発の最前線の話題と未来」 JAMSTEC経営企画部未来戦略課課長 牧 武志 様 3. パネルディスカッション 進行:名古屋大学 富田 孝史 先生 閉会挨拶 名古屋大学 富田 孝史 先生								
18:30～20:30 懇親会 会場:THE ONE AND ONLY (住所/名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー40F ※シンポジウム会場・名古屋駅から徒歩10分)										

第50回海洋開発シンポジウム(2025) 講演スケジュール																								
第2日目:2025年7月1日(火)					※色付きは論文賞対象の発表です																			
第1会場					第2会場					第3会場					第4会場									
10:55 ～ 9:30	No	座長	米山治男		港湾空港技術研究所	洋上風力発電1	No	座長	安田誠宏		関西大学	自然災害	No	座長	小濱英司		港湾空港技術研究所	構造/耐震	No	座長	佐々木淳		東京大学	浅場/海域環境
	1-01		PIVを用いたモノパイル構造物による局所流況変化に関する実験的検討				2-01	報告	令和6年能登半島地震による新潟県内の津波被害とその河川遡上についての調査				3-01		高強度繊維補強モルタルを用いたプレキャスト部材接合部のせん断載荷実験				4-01		八代海北部海域の近年の地盤高変化と海岸線改変による影響の評価			
			○ 小俣勇斗 鈴木崇之 片山裕之 比嘉結士						○ 鶴崎賢一 信岡尚道						○ 田中智宏 池野勝哉 水野剣一 Vargas, R. Kameri, C.						○ 田井明 小森田智大 山田勝雅 齋田倫範			
	1-02		波・流れ共存場における円柱周辺の局所洗掘解析の精度向上に向けた既存流量式の検討				2-02		LiND SAR衛星データを用いた珠州市宝立町を対象とした令和6年能登半島地震の被害建物の評価				3-02		PCa型有脚式離岸堤の接合部に着目したせん断載荷実験および解析的検討				4-02		埋立工事における改質材添加が浚渫土の濁度拡散に及ぼす影響に関する研究			
			○ 梶川勇樹 岡崎友香 ○ 本田未依奈 黒岩正光 馬込伸哉 原知聡 武田将英						○ 園部雅史 羽柴秀樹						○ 児玉浩悟 Orasca, V. J. 山本敦 池野勝哉 中谷郁夫 谷口哲憲 桑原政道						○ 趙容桓 ○ 米島徹 中村友昭 水谷法美 松本幸久 浜地克也			
	1-03		岩盤海底におけるモノパイル基礎周りの洗掘特性に関する研究				2-03		飯田港東防波堤の被災調査と遠心模型再現実験				3-03		砂質土地盤を対象とした控え直杭式矢板式係船岸における前面矢板の根入れ長に関する数値実験				4-03		造成干潟における牡蠣殻覆砂が生態系へもたらす効果			
11:05 ～ 12:30			○ 内海崇晴 吉河秀郎 阿部洋士 佐藤秀政 鈴木高二朗						○ 大坪正英 高橋英紀 栗原大 佐藤樹 松田達也 内藤直人 志賀守						○ 國里立紀 松村聡 水谷崇亮						○ 西内大智 和田聡一隆 水野博史 小倉一仁 日比野忠史			
	1-04		実海域における没水した直立円柱周りの局所洗掘に関する現地観測				2-04		事前に想定された断層モデルを用いた令和6年能登半島地震による上下方向地殻変動の予測				3-04		栈橋用鋼管杭のレベル2地震照査時の限界曲率超えの制限値について				4-04		諫早湾内のアサリ養殖場における緩慢的なアサリの死亡と水温、産卵時期との関係について			
			○ 原知聡 栗原明夫 武田将英 馬込伸哉 柴田雄也 倉原義之介 間瀬肇 石川和之						○ 三神厚 神山真 藤田孝康 飯干富広 大井邦昭 三上信雄						○ 塩崎慎郎 水谷崇亮 野津厚 大矢陽介 松村聡 嘉数浩靖 國里立紀 村田誠						○ 瀧田智徳 朝野直哉 木村和也 藤田孝康 松本才絵 舩山翔平 落合亮仁 日向野也也			
	1-05	報告	洗掘防止工用袋型根固め材の設置方法に関する施工実験				2-05		施工過程のブロック積護岸の被災再現実験				3-05	報告	3次元パラメトリックモデルを用いた重力式防波堤の設計プロセスの構築				4-05		海辺の生物国勢調査の調査方法の検証			
			○ 川又義徳 原知聡 武田将英						○ 水野辰哉 出口博之 西畑剛 羽田奎介 柴田和也 大月一真						○ 田中美帆 菊池将人 大久保隆介 山口達治 松原淳貴 和泉弘龍						○ 加藤史訓 浜口精平 柴田亮 橋本孝治 寺澤知彦 綿貴啓			
	No	座長	織田幸伸		大成建設	洋上風力発電2	2-06		潮位偏差に対する再現確率統計量の空間分布推定手法の検討				3-06	報告	Cebu島中部とMactan島南部の海岸調査				4-06		海流の影響が大きい漂流ブイ観測による夏季に石垣島北沖から放流した海中漂流物の挙動特性			
13:30 ～ 14:55			○ 井川誠二 上田恭平 中原知洋 三好俊康 白可						○ 成田裕也 本多和彦						○ 宇多高明						○ 嶋田陽一			
	1-07		拡圧型相似則を適用した洋上風力モノパイル式基礎の単調載荷連心実験結果に関する解析的研究				2-07		拡散モデルを用いた波浪の確率論的ダウンスケーリング手法の開発				3-07		茅ヶ崎海岸における過去20年間の継続養浜による砂浜の復元				4-07		東京湾に流入するマイクロプラスチックの境界条件が3次元分布に与える影響			
			○ 三好俊康 清宮理 松本正一郎						○ 増田和輝 田中陽二 金澤剛						宇多高明 長谷川準三 渡邊一政 小野能康 ○ 横田拓也						○ 中村倫明 鷺見浩一 大原寛志 ○ 小田晃			
	1-08		ブイ・クランプウエイトを用いたチェーンカテナリー係留の浅海域における係留特性				2-08		アンサンブル気象予報データを用いたハイブリッド型リアルタイム波浪予測モデルの構築				3-08	報告	ヘッドランド間での汀線の湾曲と変動による直線状護岸の被災-九十九里浜一宮海岸の例-				4-08		船舶衝突における包括的なマイクロプラスチック流入状況の把握			
			○ 惠藤浩朗 ○ 神田匠						○ 黒岩建社 井手喜彦 琴浦毅 尾崎伸一郎 井筒崇仁 山城賢 児玉充由						宇多高明 ○ 野志保仁						○ 中村倫明 鷺見浩一 小田晃 落合実 木村悠二			
	1-09		JCOPE2Mによる日本沿岸海流鉛直分布のモデル化に向けた検討				2-09		異常検知モデルを用いた将来気候特有の事象抽出手法—高潮偏差分布への適用—				3-09		沿岸・岸向き漂砂の同時作用による中津三百間砂州の変形				4-09		風場が海岸構造物間の軽石群の再漂流と渦に及ぼす影響の解析			
			○ 片山裕之 大西左海						○ 井手喜彦 尾崎伸一郎 沖俊介 河野瞬 山城賢 児玉充由						○ 増田遥 宇多高明 船木翔羽 野志保仁						○ 長山昭夫 福田大斗 井崎丈 木元一星			
15:05 ～ 16:45	1-10		港湾における着床式洋上風力発電施設と津波漂流物の衝突荷重に関する検討				2-10		港湾における高潮・波浪・天文潮による外力の確率論的評価手法の提案				3-10	報告	離岸距離の小さな不透過離岸堤による養浜砂流出防止-阿字ヶ浦海岸の例-				4-10		鹿児島湾でのスマート漁業に向けた高分解能海況予測システムの開発			
			○ 齋藤憲寿 渡辺一也 池ヶ谷翼						○ 三河大晟 北野利一 富田孝史						宇多高明 柴田光彦 大木康弘 ○ 村田昌樹 高橋龍一郎						○ 山口和貴 松元明子 加古典一郎 湯ノ口亮 米田一貴 鮫島徹 山城徹			
	No	座長	片山裕之		五洋建設	洋上風力発電3/波力発電	2-11		2022年の台風14号がもたらした異常潮位における微気圧変動の影響				3-11	報告	天竜川河口右岸(浜松五島海岸)で近年急激に進む侵食				4-11		パナマ運河と紅海の航行障害の同時発生が国際貿易に与える輸送コスト・CO2排出増の影響評価			
			○ 山崎美波 岡安章夫 池谷毅						○ 西崎悠 中條社大						宇多高明 福田達樹 舟橋真彦 竹内由衣 ○ 山下さくら						○ 赤倉康寛 西谷真洋			
	1-12		交差軸型風車の風荷重と起動特性に関する研究				2-12		高解像度海洋データを用いた長周期潮潮の面的解析				3-12		秋谷海岸における養浜後の礫量の減少原因の検討				4-12		コンテナターミナルにおけるCO2排出量モニタリングモデルの開発			
			○ 惠藤浩朗 ○ 藤澤佐翔						○ 松尾俊平 榎原賢一						宇多高明 ○ 米澤淳 諏訪大						犬塚秀世 Mathias, T. N. ○ 杉村佳寿			
	1-13		風・波・地震による複合外力作用下の着床式洋上風車の遠心模型実験				2-13		2019年台風19号における清水港の高潮・波浪特性の評価				3-13	報告	Lombok海峡に位置するPenida島北岸での海浜変形と対策検討				4-13		国際海上コンテナ物流を対象とした経路別CO2排出量の簡易算定手法			
16:45 ～ 17:30			○ 高橋英紀 土田雄大 加島寛章 大矢陽介 栗原大 市川友弘						○ 鈴木雄太 濱野有貴 平山克也 富田孝史						森智弘 宮川晃希 宇多高明 大中晋 ○ 倉上桃佳 三波俊郎						○ 小川雅史 田川帆師 杉村佳寿 赤倉康寛			
	1-14		液状化地盤における洋上風力モノパイル基礎を想定した大径杭の遠心場振動台実験				2-14		電動リールを用いたCTDとADCP搭載リバーボートによる観測				3-14		MORPHOLOGICAL CHANGE IN TIDAL FLAT AREA DURING HIGH AND LOW WAVE CONDITION USING XBEACH SIMULATION				4-14		混和材を大量に使用した低炭素コンクリートの港湾無筋コンクリートへの適用に関する検討			
			○ 石原優衣 名田駿太郎 佐野和弥 伊藤和也 加藤亮輔 村川史朗 大石幹太 片桐雅明						○ 坪野考樹 新井田晴朗 三角和弘						○ Warahmah, S. M. Kato, S. Toyoda, M.						○ 川端雄一郎 中村董 山路徹			
	1-15		不規則波における反射壁を利用した下部固定型振り子式波力発電装置の発電特性評価				2-15		有明海湾奥のリアルタイム高潮予測における大規模アンサンブルデータとAIの活用				3-15	報告	異なる海岸特性を持つジャワ島北部3沿岸域の海岸機構と対策の方向性				4-15		CO2固定によるカルシア人工石の緻密化と強度特性に関する基礎的研究			
			○ 趙容桓 山本健太 中村友昭 水谷法美						○ 小川真弥 井手喜彦 山城賢 嶋田智行 野村悠太 小原裕貴						○ 宮川晃希 大中晋 高木利光 森智弘 遠藤秀文						○ 田村勇一朗 田中裕一 中村董 松村聡 川端雄一郎			
	No	座長	酒井大樹		東洋建設	施工技術1	2-16		REGIONAL WAVE SIMULATIONS VALIDATED WITH SATELLITE MEASUREMENTS: CASE STUDY IN NORTH ARABIAN SEA				3-16		USING EXPLAINABLE AI TO IDENTIFY BEACH VOLUME CHANGES UNDER MET-OCEAN CONDITIONS AT HASAKI COAST, JAPAN				4-16		港湾構造物におけるスラグ発生土の再利用によるCO2排出量の削減効果の試算			
17:30 ～ 18:15			○ 梅村凜 板垣侑理恵 片山裕之 鈴木清史 天満則夫						○ Bahdon, I. A. Nakamura, R. Matsunaga, S.						○ Nauwen, M. T. Suzuki, T. Mäll, M. Banno, M.						○ 松村聡 山下真奈 川端雄一郎 水谷崇亮 森川嘉之			
	1-17	報告	石炭灰混合人工石材を用いた袋型根固材の製造に関する検討				2-17		CADMAS-SURF/3Dにおける移流スキームの高次化に対応した水表面境界条件の検証				3-17		波崎海岸の縦断地形変化と底質移動特性に関する研究				4-17	報告	釧路港における浚渫土砂の防波堤背後盛土への活用によるCO2排出量と吸収量の炭素収支			
			○ 竹中寛 森田浩史 高淵裕貴 安田正雪 金澤剛 辻光俊 山本武志 岡田由紀彦						○ 鈴木樹 鶴田修己						○ 竹中健悟 鷺見浩一 小林信久 中村倫明 小田晃						○ 内藤了二 大沢佳宏 山本也実 酒向章哲 秋山吉寛 玉上和範 杉村佳寿 岡田知也			
	1-18		作業船自動自律化に向けたデータ分析に関する研究				2-18		橋梁等の構造物を用いた河川津波の被害軽減に関する数値解析的研究				3-18		干潟上の砂連波長分布の把握				4-18		都市圏の港湾区域における干潟・岩礁帯を有する生物共生型護岸のCO2吸収量の定量化			
			○ 琴浦毅 宮本憲都 延田篤彦 磯山直也 小島浩昭						○ 小杉淳悟 柿沼太郎						○ 朝倉稜翔 加藤茂 豊田将也						○ 西本汰汰 大西晃輝 大坪貴明 志茂香 桑江朝比呂 岡田知也 三戸勇吾			
	1-19		中空構造の超大型プレキャスト部材を用いた栈橋の急速化施工				2-19		COMPARATIVE ANALYSIS OF DYNAMIC RUPTURE AND STATIC FAULT MODELS FOR TSUNAMI PREDICTION USING T-STOC				3-19	報告	インドネシア国ジャワ島北沿岸における粘性土海岸の侵食とその対策について				4-19		稜角部を多く配置したコンクリートブロック上のコンブ類のCO2吸収量の算定方法			
			○ 池野勝哉 大本武 佐々木慎 伊野同 川端雄一郎 加藤絵万 岩波光保						○ Machebre, E. Ono, N.						○ 高木利光 宮川晃希 森智弘 大中晋						○ 青田徹 廣瀬紀一 富永暁 高橋幹夫			
18:15 ～ 19:00	1-20		周期帯別波高の海上施工可否判断への活用検討				2-20		AIによるセグメンテーション画像作成技術を用いた越波検知手法の開発				3-20		底質粒径と前浜勾配の関係に関する簡略化した理論式の提案と評価				4-20	報告	室内水槽での長期育成過程における水草によるCO2吸収量と水面を通したCO2交換量との関係			
			○ 西広人 琴浦毅						○ 福原直樹 姫野一樹 柴田亮 加藤史訓 山田直也 高田望						○ 辻本剛三						○ 水谷夏樹 ○ 野本莉央 藤島玲士 藤長愛一郎 谷口省吾			
19:00 ～ 19:45	1-21		台船動揺下でのSEP船による瀬取り水理模型実験				2-21		マルチビームソナーによる海底粗さの再現性の検証と粗度係数の評価				3-21		水理模型実験における礫浜の地形変化を対象とした数値計算モデルFS3Mの再現性に関する研究				4-21		新たなCPG工法の低炭素化施工に向けた等価改良率の実験的検証			
			○ 柳澤創 野中拓実 水野辰哉 出口博之 西畑剛 道前武尊						○ 大川創 村上智一 朝倉一哉 中村雅子 下川信也 佐々木智弘						○ 鳥居大和 菊雅美 水谷法美 中村友昭						○ 高田美音マリノ 佐々真志 竹之内寛至 小堀諒士 岩城徹也 大野寛代孝 金子誓			

第3日目:2025年7月2日(水)

※色付きは論文賞対象の発表です